

平成23年4月から新学習指導要領完全実施になります。

※学習指導要領とは、教育内容を国が基準として定めたものです。

新学習指導要領改訂の基本的な考え方

新しい学習指導要領では、学校で子どもたちの「生きる力」をより一層育むことを目指します。



今回の改訂のポイントは、

- 基礎的な知識・技能をしっかりと身につかせます
- 知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力をはぐくみます
- 学習に取り組む意欲を養います

「ゆとり」か「詰め込み」かではなく、基礎的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成の両方を大切にしていきます



バランスよく伸ばすため、教科などの授業時数を増加し、教育内容を改善します

授業時数の増加

○国語・社会・算数・理科・体育の授業時数を6年間で約1割増加します

- ・国語：1年生で週9時間 2年生で週8時間に増加（現行1年生8時間 2年生7時間）
- ・算数：2～6年生で週5時間に増加（現行2年生4.4時間：3～6年生4.3時間）
- ・理科：4～6年生で週3時間に増加（現行4年生2.6時間：5, 6年生2.7時間）
- ・体育：1～4年生で週3時間に増加（現行2.6時間）
- ・外国語活動：5, 6年生で週1時間新設

※「詰め込み教育」への転換ではなく、下記の学習を充実するためです。

- ア、つまずきやすい内容の確実な習得を図るための繰り返し学習
- イ、知識・技能を活用する学習（観察・実験やレポート作成、論述など）

●総合的な学習の時間は、週あたり3時間から2時間へ縮小されます

具体的な改善内容は、

①国語をはじめ、全ての教科等で言語の力をはぐくみます

【国語】では、

- ・経験したことを記録・報告する活動や相手を説得するために意見を述べ合う活動、知識や経験を活用して論述する活動を行います

【社会】では、

- ・社会的な事柄について、資料の読み取って解釈し、考えたことを説明したり、自分の意見をまとめた上で、お互いに意見交換をしたりする活動を行います

【算数】では、

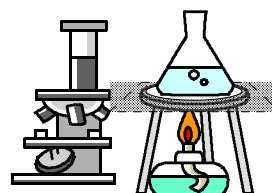
- ・言葉、数、式、図、表、グラフを使って論理的に考え、根拠を明らかにして筋道を立てて説明し、伝え合う活動を行います

【理科】では、

- ・ 仮説を立てて観察・実験を行い、結果を分析・解釈する活動や、日常生活の現象を科学的な用語を使って説明する活動を行います

②理数の力を育みます。

- 算数、理科の授業時数を増加し、観察・実験や反復学習などを充実します

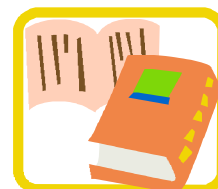


③外国語教育を充実します

- 小学校5・6年生で、英語を中心とした「外国語活動」を導入します
→コミュニケーションをすることの楽しさを知り、言語や文化に慣れ親しみます

④伝統や文化に関する教育を充実します。

- 【国語】では、小学校で古文・漢文の音読を行います
- 【社会】では、小学校で国宝・文化遺産などの歴史学習を充実します
- 【音楽】では、唱歌や和楽器の学習を充実します



⑤新しい時代に対応した教育を充実します

- 環境教育：持続可能な社会をつくることの重要性
- 家族と家庭に関する教育：家庭生活の大切さ
- 食育：望ましい食習慣の形成
- 情報教育：情報の活用、情報モラル
- 特別支援教育：一人ひとりの障害の状態に応じた指導の工夫

⑥規範意識や他人を思いやる心を育みます

- ・児童生徒が感動を覚えるような魅力的な教材を開発・活用します
- ・子どもの発達に応じて、あいさつ、規範意識、自他の生命の尊重、社会への主体的な参画などについて指導します

⑦健やかな体を育てます

- ・運動する子どもとそうでない子どもの二極化を解消し、体力を高めることができるよう、体をほぐす・バランスをとるなどの「体づくり運動」を低学年から行います
- ・球技や武道、ダンスなど様々な運動を行います



その他

	平成20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
学習指導要領	周知	先行実施	→	全面実施	→
教科書	編集	検定	採択・供給	使用	→

※時数の増加等に関しては、現在移行期間中であり段階的に切り替えているところです。